

様式第 1 号

令和 7 年〇月〇日

岐阜県知事 様

住 所 岐阜市藪田南 2-1-1
事業主体名 恵みの森づくりの会
代表者名 代表 森野 めぐみ

押印不要

令和 8 年度清流の国ぎふ地域活動促進事業 応募申請書

代表者の肩書は
規約と同じ

下記の活動を実施したいので、清流の国ぎふ地域活動促進事業に応募します。

記

- 1 事業名 恵みの森づくり推進事業
- 2 活動計画書 様式第 2 号 活動計画書
実施箇所の位置図

清流の国ぎふ地域活動促進事業 活動計画書

令和7年〇月〇日

本事業を初めて活用する団体は「新規」、過去に活用した実績がある団体は「継続」（活用した年数）を記載してください。

1 申請団体等概要

事業名	恵みの森づくり推進事業		
団体等名	恵みの森づくりの会	活用状況	継続(R2-R6)
代表者氏名	代表 森野 めぐみ	構成員数	15人
所在地	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1		
設立年月日	平成25年4月1日 (済) ・ 見込) ※いずれかに○を付してください		
設立目的	規約のとおり 団体の目的・組織・活動などの基本的なルールについて定めた定款などをもって、省略できます。		
活動分野 活動内容	(地域活動促進事業の活動に限らず幅広く記載してください。) ・岐阜市藪田地内における里山林の整備 ・岐阜市藪田地内での木のおもちゃ体験 ・県内各地での森づくり活動の支援 ・里山整備の担い手づくり 等		
過去の具体的活動実績	・植林体験 2回/年(令和2年～) 場所：岐阜市藪田地内、参加者数：平均10人 ・里山林整備活動 5～6回/年(令和3年～) 場所：岐阜市藪田地内、参加者数：平均20人 ・木のおもちゃ体験 2回/年(令和4年～) 場所：岐阜市藪田地内、参加者数：平均30人 ・間伐体験 2～3回/年(令和5年～) 場所：岐阜市藪田地内、参加者数：平均10人 ・木育キャンプ 2回/年(令和6年8月実施) 場所：岐阜市藪田地内他、参加者数：各20人 内容：森林の危険生物に関する学習、森林散策ツアー 等		
事務局職氏名	事務局長 森野 あすは		
事務局連絡先	住所：〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 電話：058-272-1111 携帯：090-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：058-278-2702 E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp		

※規約又は会則及び構成員名簿、団体等をPRできる資料を添付のこと。
※「設立目的」及び「活動分野 活動内容」の欄は、添付する規約等でその内容が把握できる場合は「規約のとおり」等と記載し、詳細の記入を省略してもよい。
※「活用状況」の欄の () には、本事業を活用した年数を記入する。
例：令和2年から令和6年まで本事業を活用している場合は、「継続(R2-6)」と記載する。

2 応募活動内容

始期は交付決定後、
終期は3月10日より前
※支払いまで完了すること

実施期間 令和8年 4月30日 ～ 令和9年 2月10日

実施場所 岐阜市藪田地内

応募申請時は、土地所有者の
同意は無くても可。
※交付申請時には、土地所有者の同意書の提出は必須。

土地所有者の同意 ☒ 有 ・ 無 見込み (月 日)

事業分野 ※該当する事業分野に○を付ける	☐	1 県民参画を促進する森づくり・川づくりの活動
		2 水環境や生物多様性の保全を目指す活動
	☐	3 子どもたちのための森づくり・川づくりの活動
		4 上記1～3の活動の中で特に対策が必要である課題に対してモデル的に 行われる活動

事業の目的 (事業実施の背景及びその必要性を記入してください。)

岐阜市藪田周辺では、長年放置されてきた里山林が荒れ放題となっており、不法投棄が行われるなど住民の生活環境上の問題となっている。

そのため、このあたりの里山を整備することで住民の生活環境の改善を図るとともに、整備によって得られた木材を使い、森林環境教育などを実施することで、子どもたちに整備の必要性和木材の有効活用について学んでもらい、将来にわたり持続的な森林整備が行われるような意識を育むことを目的とする。

事業内容	(下記の全ての項目について具体的に記入してください。)
------	-----------------------------

○活動内容

5月 里山林整備安全講習（1回）

6月～10月 岐阜市藪田地内での里山林整備（5回）、整備した木材を搬出（2回）

7月～10月 搬出した木材を材料として、木のスプーンづくりを実施（4回）

7月～10月 搬出した木材を薪として加工（3回）

8月、11月 木のスプーンや薪材を利用したの木育イベントを実施（1日×2回）

○活動準備（広報計画、参加者の募集方法、作業委託方法など）

＜広報計画＞

- ・当団体のHPやFacebook等を活用し、活動の周知を図る。
- ・活動の際は、のぼりを活用し森林・環境税の広報を行う。

＜参加者の募集方法＞

- ・チラシや地区内の回覧板、SNS等、複数のツールを活用する。
- ・チラシの配布先は、市内の小中学校やスポーツ用品店等を予定。

＜作業委託方法＞

- ・基本的には構成員及び参加者で里山林整備を行うが専門的な技術が必要とする危険木については委託を行う。

○活動体制（指導者の配置）

- ・里山林整備の前には講師を招待し安全講習を行う。
- ・参加者の動きを常に把握できるよう十分に構成員等を配置する。

○安全対策（事前の安全確認、ヘルメットなど安全装置の着用、保険の加入など）

- ・作業の際はヘルメットの着用を義務付ける。
- ・森林環境教育と木育イベントではスタッフに救急対応の講習を実施する。
- ・ボランティア保険に加入する。
- ・林内に入るときは、長袖・長ズボンの着用、虫除けスプレーを使用する等、マダニやヒルなどに刺咬されないよう対策を行う。

○事業目標（事業量、参加人数など）

- ・里山林の整備 面積2.5ha、参加者数延べ100人
- ・木のスプーンづくり 4回、参加者数延べ80人
- ・薪加工作業 3回、参加者数延べ50人
- ・木育イベント 2回、参加者数延べ200人

○事業効果（直接効果、波及効果）

- ・地域の里山林が整備され、生活環境の改善が図られる。
- ・里山林整備の重要性と木材の有効活用方法に対する子どもたちの理解が進む。
- ・活動に参加したことをきっかけに地域の里山の整備や活用に関心を持つ人が増える。

面積、参加人数等
具体的な数字を記載してください。

森林や川での活動を含まない事業については、「森づくり、川づくり」にどのように繋げるのか記載してください。

※必要に応じ別途資料を添付してください。

以下の項目は、過去に当補助制度を活用した団体は記載してください。

事業効果

(これまでの活動による事業効果について具体的に記入してください。)

【記載方法】

○継続的に活動してきたことによる事業効果を記載してください。「里山がきれいになった」等の定性的な事業効果ではなく、「継続的な活動により○ha から○ha まで活動規模が拡大した」といった定量的な事業効果を記載してください。

※以下の記載内容は望ましくありません。

- ・「里山を整備したことで景観が良くなった」
理由：定量的な事業効果の記載がない
- ・「○ha の里山整備を実施した」
理由：事業結果であり、継続的な活動による事業効果の記載がない
- ・「木育体験の参加者を募ったところ、○名が参加した」
理由：事業結果であり、継続的な活動による事業効果の記載がない

記載例)

- ・団体設立当初、0.5ha から始めた里山整備活動であったが、10 年間継続的に実施して得たノウハウを活かし、現在は 5ha まで規模を拡大している。また、活動を聞きつけた地元住民からは、整備してほしい旨の要望が増え、里山整備の重要性が広まりつつあると感じる。
- ・4 年前に実施した里山林整備活動の参加者が、現在、団体の運営に携わっている。
- ・主催した木育イベントに継続して参加した方が木育に興味を持ち、木育サポーターを経て、ぎふ木育指導員として指導する立場で活躍している。

収 支 予 算	(区分、費目ごとに金額を記入してください。)			
(収入)				
	費 目	事業経費 (円)	内 訳	
	県補助金	646,500	清流の国ぎふ地域活動促進事業補助金	
	自己財源	106,500		
	その他の財源	140,000	木育イベント参加料 2,000 円×70 人	
	合計	893,000		
(支出)				
区分	費 目	事業経費 (円)	うち補助対象経費 (円)	内 訳 (単価×数量)
人的経費	賃 金	20,000	20,000	木材搬出作業者 5,000 円/日×2 人×2 日 (1 日あたり 7 時間)
	報償費	50,000	50,000	里山林整備安全講習講師 10,000 円/日×1 人×1 日 (1 日あたり 4 時間) スプーンづくり講師 10,000 円/日×1 人×4 日 (1 日あたり 4 時間)
	旅 費	10,000	10,000	里山林整備安全講習講師 1,480 円/日×1 人×1 日 スプーンづくり講師 2,130 円/日×1 人×4 日 (公共交通○駅から○駅)
	小 計	80,000	80,000	
	その他の活動経費	500,000	400,000	鉋、鋸、紙やすり、ガソリン、 チラシ印刷費、 <u>食料品など (補助対象外)</u> ※別紙のとおり
	役務費	85,200	85,200	案内状発送代、イベント保険 ※別紙のとおり
	委託料	100,000	100,000	里山林整備危険木除去委託 100,000 円
	使用料及び 賃借料	100,000	100,000	チェーンソーレンタル 5,000 円/日×20 日分
	工事請負費			
	原材料費	27,800	27,800	スプーンづくり塗料セット 27,800 円
	備品購入費			
	小 計	813,000	813,000	
	合 計	893,000	793,000	

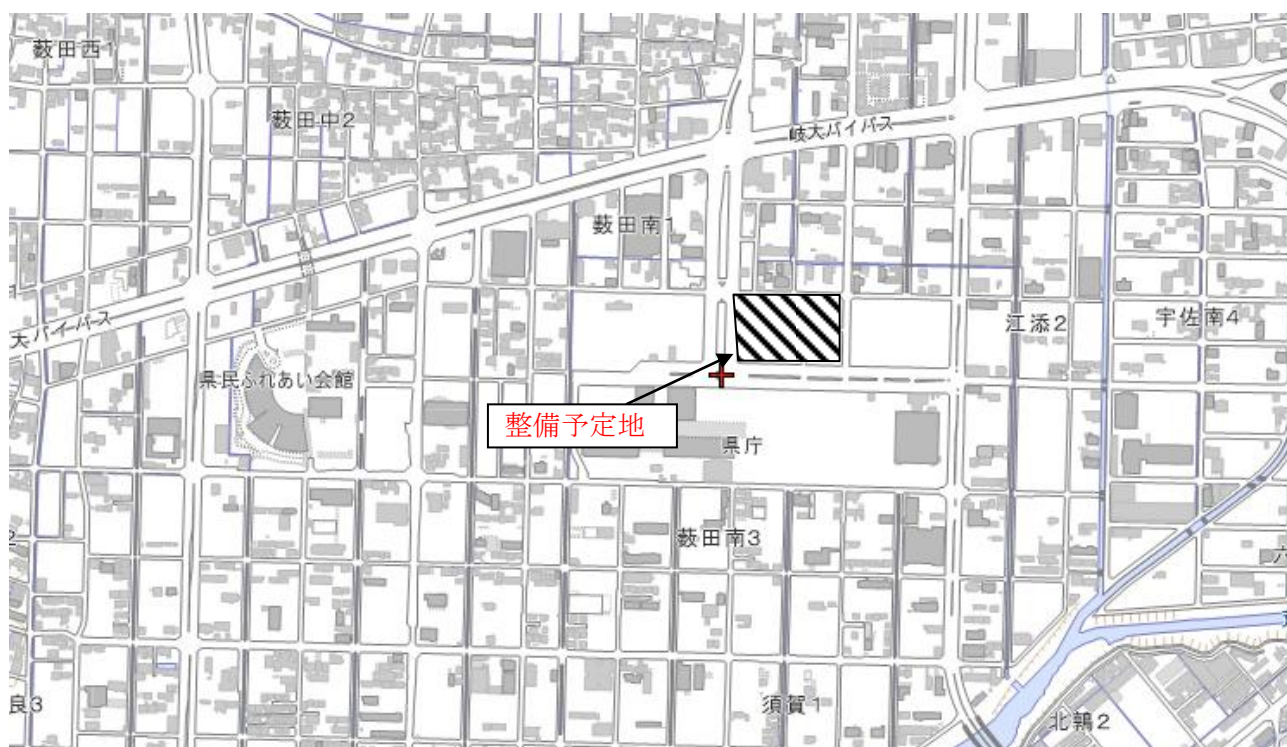
※「内訳」の欄は、必要に応じ別表 (単価×数量) を添付すること。

総事業費 (うち、補助対象経費)	893,000 円 (うち、補助対象経費 793,000 円)		
補助金額	646,500 円 ・ 補助対象経費の合計額が 500 千円以下の場合 補助金額＝補助対象経費の合計額 ・ 補助対象経費の合計額が 500 千円を超える場合 補助金額＝500 千円＋(補助対象経費の合計額－500 千円)÷2 ・ 補助金の上限額は、2,000 千円(第3第1項の(4)に掲げる事業にあっては2,250 千円)と総事業費から参加費その他の収入額を控除した額を比較して少ない方の額		
他への助成申請	1	あり(応募先名:)	2 なし
次年度以降の事業計画	(下記の全ての項目について具体的に記入してください。 ○次年度以降における事業計画、財源計画、事業拡充の見通しについて 来年度以降も地域の生活環境が維持できるよう、引き続き住民が主体となって里山の整備を行う。また、子どもたちへの森林環境教育などについても、プログラムの内容をブラッシュアップしながら、里山整備の重要性を伝えていく。財源計画については、本事業を活用するほか、下記記述のとおり財源の確保手段を検討し活動を継続させていきたい。 ○補助制度終了後の活動の継続性について(補助制度が終了した場合の財源計画について) 補助制度が終了すると実施できることは限られてくるが、イベント参加料の増額や中部地域づくり協会の助成制度等の活用を検討し、これまでの活動における経験・ノウハウを活かし、可能な限り活動を継続させたい。		
活動PR	(団体ならではの活動など、本事業を実施する上でのPRポイントを100字程度で記入してください。) 活動のPRポイントを記載してください。		

添付資料(応募時と交付申請時で提出するものが同一の場合は交付申請時には添付の省略可)

□事業地位置図及び現況写真

- ・事業実施場所の位置を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図
- ・事業実施場所の状況を明らかにした縮尺5,000分の1以上の概況図及びカラー写真



整備予定地の状況